

現代日本の 若者を考える

～ひきこもり支援から見える風景～

話題提供者 **山本 朗** (和歌山大学保健センター准教授)

日本において1980年代に「ひきこもり」という言葉が知られはじめてから、ひきこもりは重要な社会問題として認識されるようになってきました。ひきこもりは、あくまでも状態像であり、その背景はさまざまです。当事者の状態や背景に応じたサポートを丁寧に提供する必要があります。本サロンでは、不登校やひきこもりの支援を行ってきた精神科医が、実践で得たものやひきこもりに関する最近の知見などをお話しします。社会が「若者を支える」ことの意義や課題などを一緒に考えていただければと思います。

参加無料
申込不要

日時

平成26年7月16日 **水** 19:00 ~ 20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ

和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

Tel & Fax : 072-433-0875

【E-mail】 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分
駐車場有 (平日終日無料)

次回浪切サロンは裏面へ



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。